

---

# Setting Up the PDS

2002 Fall Edition

PDS 7.1 on Windows 2000

2002-08-02

Windows 2000 (英語版/日本語版)	5.0
Windows 2000 Service Pack	2
MicroStation/J (英語版)	7.1
PDS (3D, 2D, FWP, Raceway)	7.1
PD_ISOGEN	7.1
NTBATCH	5.0
IPLOT (Server, Client)	10.01/10.02
IPLOT Driver Pack	3.0
Oracle	8.1.7
RISORADS	05.05.00.07
SmartSketch (英語版)	4.0
SmartPlant Review	4.2.4
SPR Publisher	4.2.4

## **1 Windows 2000 のインストール**

Windows 2000 (Professional, Server)本体をインストールする。なお、Windows 2000 がマシンにプリインストールされている場合や、マシン付属のリカバリ CD を使用する場合等には、手順が異なることがある。

### **1-1 地域の設定**

Windows 2000 日本語版の場合、“**地域**”ダイアログボックスの“**カスタマイズ**”ボタンにより、“**現在のユーザー設定**”として“**ロケール**”を“**英語(U.S.)**”に設定する。

### **1-2 ライセンスモードの選択**

Windows 2000 Server の場合、ライセンスモード(**Per Server:同時使用ユーザー数 / Per Seat:接続クライアント数**)の選択を行う。**Per Server (同時使用ユーザー数)**を選択した場合には、クライアントアクセスライセンス(CAL)数(OS 付属分 + 追加購入分)の入力を行う。

### **1-3 Windows 2000 コンポーネントの選択**

Windows 2000 Server の場合、**Windows 2000 Components (Windows 2000 コンポーネント)**ダイアログボックスで、インストールするコンポーネントの選択を行う。**Internet Information Services (IIS: インターネットインフォメーションサービス)**のインストールを行わない場合、このダイアログボックスで指定を行う。

### **1-4 ネットワークの設定**

**Networking Settings (ネットワークの設定)**ダイアログボックスの **Custom settings (カスタム設定)**により、ネットワークの設定(IP アドレス、ワークグループ/ドメイン名の指定等)を行う。

## **2 Windows 2000 の設定**

Windows 2000 本体のインストール終了後、以下の設定を行う。

### **2-1 Network Identification Wizard (ネットワーク識別ウィザード)**

Windows 2000 Professional の場合、初めてログオンを行う前に表示される **Network Identification Wizard (ネットワーク識別ウィザード)**で、**Users must enter a user name ... (ユーザーはこのコンピュータを使用するとき ...)**オプションを選択する。

### **2-2 Num Lock**

**Administrator** としてログオンを行う。キーボードの **Num Lock** をオンにする。

### **2-3 Getting Started (Windows 2000 の紹介)ダイアログボックスの設定**

Windows 2000 Professional の場合、**Getting Started with Windows 2000 (Windows 2000 の紹介)**ダイアログボックスの **Show this screen... (スタートアップ時に...)**オプションをオフにし、**Exit (終了)**ボタンを選択する。

### **2-4 Configure Your Server (Windows 2000 サーバーの構成)ダイアログボックスの設定**

Windows 2000 Server の場合、**Windows 2000 Configure Your Server (Windows 2000 サーバーの構成)**ダイアログボックスの **I will configure this server later. (このサーバーを後で構成します)**オプションを選択し、**Next (次へ)**を選択する。**Show this screen at startup (起動時に、この画面を表示する)**オプションをオフにする。

### **2-5 Active Directory の設定**

Windows 2000 Server で、新しいドメインを作成する場合、または既存のドメインのバックアップドメインコントローラとする場合には、上記の **Windows 2000 Configure Your Server (Windows 2000 サーバーの構成)**ダイアログボックス左側の **Active Directory** を選択し、設定を行う。上記のダイアログボックスは、**Administrative Tools (管理ツール)**の **Configure Your Server (サーバーの構成)**から起動することができる。

### **2-6 Service Pack 2 のインストール**

Windows 2000 Service Pack 2 のインストールを行う。

### **2-7 パーティションのフォーマット**

**C:**ドライブ以外に **D:**等のパーティションを作成した場合はフォーマットを行う。

## 2-8 ドライバのインストール

グラフィック、マウス等のドライバをインストールする。

## 2-9 地域のオプション

Windows 2000 日本語版のインストール時に“地域”の設定を行えなかった場合、コントロールパネルの“地域のオプション”で“現在のユーザー設定”として“ロケール”を“英語 (U.S.)”に設定する。

## 2-10 Show window contents... (ドラッグ中に...)オプションの設定

Display (画面)の Properties (プロパティ)を表示し、Effects (効果)タブの Show window contents while dragging (ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する)オプションをオフにする。

## 2-11 Event Viewer (イベントビューア)の設定

My Computer (マイコンピュータ)の Manage (管理)を選択し、Event Viewer (イベントビューア)の各ログの When maximum log size is reached (ログサイズが最大値に達したときの動作)を、Overwrite Events as Needed (必要に応じてイベントを上書きする)に設定する。

## 2-12 Internet Explorer (インターネットエクスプローラ)の設定

インターネット接続方法(プロキシ等)の設定を行う。また、Use HTTP 1.1 through proxy connections (プロキシ接続で HTTP 1.1 を使用する)オプションをオンにする。

## 2-13 クライアントアクセスライセンス(CAL)の登録

Windows 2000 Server で、ライセンスモードが Per Seat (接続クライアント数)の場合、Administrative Tools (管理ツール)の Licensing (ライセンス発行)を起動し、クライアントアクセスライセンス(OS 付属分 + 追加購入分)の登録を行う。なお、Product (製品)の指定(Microsoft BackOffice / Windows Server)に注意する。

### **3 ソフトウェアインストール前の設定**

アプリケーションソフトウェアをインストールする前に、以下の設定を行う。

#### **3-1 レジストリ DisableUNCCheck の追加**

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft に対して、以下の値を追加する。

**DisableUNCCheck: REG\_DWORD: 0x1**

#### **3-2 レジストリ winreg の削除**

Windows 2000 Server の場合、以下のキーを削除する。

**HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SYSTEM\  
CurrentControlSet\Control\SecurePipeServers\winreg**

#### **3-3 レジストリ DisableDHCPMediaSense の追加**

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Tcpip\Parameters に対して、以下の値を追加する。

**DisableDHCPMediaSense: REG\_DWORD: 0x1**

#### **3-4 レジストリ Intergraph の追加**

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE に対して、以下のキーを追加する。

**Intergraph: クラス指定なし**

#### **3-5 レジストリ Intergraph の Permissions (アクセス許可)の設定**

上記で作成した Intergraph キーに対して、Everyone – Full Control (フルコントロール) の Permissions (アクセス許可)を追加する。

#### **3-6 レジストリ Common の追加**

上記で作成した Intergraph キーに対して、以下の値を追加する。

**Common: REG\_SZ: C:\WIN32APP\INGR\SHARE**

#### **3-7 環境変数 TEMP/TMP の設定**

C:\TEMP フォルダを作成し、Everyone – Full Control (フルコントロール) の Permissions (アクセス許可)を設定する。Administrator のユーザー環境変数 TEMP およ

び **TMP** を削除し、システム環境変数 **TEMP** および **TMP** に対して、以下の値を設定する。

**%SystemDrive%\TEMP**

### **3-8 マシンの再起動**

マシンを再起動する。

## 4 アプリケーションソフトウェアのインストール

各アプリケーションソフトウェアは、以下の順序でインストールを行う。

- 1) MicroStation (PDS マシン/ISOGEN マシン)
- 2) IPLOT Server (プロットサーバ)
- 3) IPLOT Driver Pack (プロットサーバ)
- 4) IPLOT Client (PDS マシン/ISOGEN マシン)
- 5) Oracle (データベースサーバ)
- 6) RISORADS (データベースサーバ)
- 7) NTBATCH (PDS マシン/ISOGEN マシン)
- 8) PDS (PDS マシン/ISOGEN マシン)
- 9) PD\_ISOGEN (ISOGEN マシン)
- 10) その他のアプリケーション

### 4-1 MicroStation

**Typical** または **Complete** により、MicroStation/J のインストールを行う。

### 4-2 IPLOT (Server, Driver Pack, Client)

各マシンの構成に合わせて IPLOT (Server, Driver Pack, Client)のインストールを行う。  
IPLOT Server および Client の両方を 1 台のマシンに対してインストールする場合には、  
Server, Client の順でインストールを行う。

### 4-3 Oracle

データベースサーバに対して Oracle のインストールを行う。

**Oracle 8i 8.1.7.0.0**    **Next**    **Custom**    **Next** を選択する。

インストールするプロダクト:

**Oracle8i Server**

**Net8 Products**

**Oracle Utilities**

**Oracle Configuration Assistants**

**Oracle Installation Products**

インストールしないプロダクト:

**Oracle HTTP Server**

**Oracle Product Options**

**Development Tools**

**Oracle Java Products**

**Oracle Enterprise Manager Products**

Java Runtime Environment のインストール先を **D:\Oracle\jre\1.1.7** に変更する。

Create Database に対して、**No** を選択する。

Net8 Configuration Assistant ダイアログボックスでは、**Perform typical configuration** オプションを選択する。

#### 4-4 RISORADS

データベースサーバに対して RISORADS のインストールを行う。インストール先フォルダを **C:\WIN32APP\INGR\RISORADS** に設定する(PDS 7.1 の CD からインストールを行う場合は **C:\WIN32APP\INGR\RISORADS\_5.5** でも可)。

#### 4-5 NTBATCH

インストール先フォルダを **C:\WIN32APP\INGR\NTBATCH** に設定する。

Do you want jobs to have access to the desktop? に対し **Yes**、

Do you want to run all job as the same user? に対し **No** を選択する。

#### 4-6 PDS

各コンポーネントをデフォルトの設定でインストールする。RISORADS がインストールされている場合には RISSHARE のインストールは行わない。

#### 4-7 PD\_ISOGEN

ISOGEN の処理を行うマシンでは、PDS のインストールを行った後、PD\_ISOGEN のインストールを行う。RISORADS がインストールされている場合には RISSHARE のインストールは行わない。

#### 4-8 その他

各マシンの構成に合わせて、Acrobat Reader, SmartSketch, SmartPlant Review (SPR), SPR Publisher 等のソフトウェアをインストールする。

#### 4-9 マシンの再起動

全てのソフトウェアをインストールした後、マシンの再起動を行う。



## 5 ソフトウェアインストール後の設定

全てのアプリケーションソフトウェアをインストールした後、以下の設定を行う。

### 5-1 環境変数 NQS\_job の定義

以下のように、システム環境変数を定義する。

```
NQS_job = 1
```

### 5-2 環境変数 Path の設定

環境変数 **Path** の定義に、空白文字を含むフォルダ名や、ダブルクォーテーションマーク (") が含まれていれば削除する。

### 5-3 RIS の設定

Windows 2000 日本語版では、RIS で使用する言語を **English** に設定しておく必要がある。  
**C:\win32applmgr\share\ris05.xx\config\langs** ファイルの読み取り専用属性をオフに設定し、以下のように編集する。

(編集前)

```
3 |japanese          |japanese    |0x0411|932|Japanese
```

(編集後)

```
3 |english          |english    |0x0411|932|Japanese
```

### 5-4 PDS Queue の作成

**PDS Queue** を起動し、**Batch Queue** を作成する。ISOGEN のバッチ処理を他のマシンで実行する場合には、PD\_ISO 関連の Queue を Pipe Queue とする。各 Queue の Properties の **Disable Job Inflow while Running Job** オプションがオンになる不具合に対応するため、**PDS Queue** での設定をもう一度(合計 2 回)行う。

### 5-5 NTBATCH の Account Mapping

**Batch Manager** を起動し、\*\* = **ドメイン名\Administrator** のように Account Mapping の定義を行う。

### 5-6 Bentley ライセンス

MicroStation, IPLOT 等のライセンスが発行されている場合にはインストールを行う。

### 5-7 PDS ライセンス

ライセンスサーバに対してサーバライセンスのインストール(**pdlice -a**)を行う。各クライアントに対してライセンスサーバの登録(**pdlice -j**)を行う。ライセンスサーバ上でも PDS を動作させる場合には、同様にライセンスサーバの登録を行う。

### 5-8 SetFormScale

デュアルモニタのマシンの場合は、PDS 2D Tools の **SetFormScale** により、**Form Scale Factors** を **X = 0.5, Y = 0.5** に設定する。

### 5-9 FWP Envelope Builder の更新

FWP 用 Envelope Builder プログラムの更新を行う。**Command Prompt (コマンドプロンプト)**上で **C:\win32appl\ingr\fwplus\bin** ディレクトリに移動し、以下のコマンドを実行する。

```
clashupd c:\win32appl\ingr\pdclash\bin
```

### 5-10 プリンタ/プロッタ

IPLOT サーバでは、使用するプリンタ/プロッタに合わせて、共有プリンタの作成を行う。また、**Printing Preferences (印刷設定)**や **Properties (プロパティ)**等の設定を行う。

### 5-11 ユーザプロファイルのコピー

**My Computer (マイコンピュータ)**の **Properties (プロパティ)**を表示し、**User Profiles (ユーザープロファイル)**タブを選択する。**Administrator** のプロファイルを選択して **Copy To (コピー先)**ボタンを選択する。**C:\Documents and Settings\Default User** をコピー先として指定し、**Permitted to use (使用を許可するユーザー/グループ)**に **Everyone** を指定する。

### 5-12 マシンの再起動

全ての設定作業を行った後、動作確認を開始する前にマシンの再起動を行う。